

広報部会会員による就業現場レポート(第14回)



新型コロナの影響による長期休講を乗り越え、今年4月によく再開！活気に戻るパソコン教室取材しました。



パソコン教室メモ(令和5年10月現在)

- 就業会員** 現在7名(講師担当5名、アシスタント担当1名、事務担当1名)
「スタッフ(講師担当)を増強して、教室の幅を広げたい！」
- 開講日** 毎週火曜日と木曜日 午前・午後(令和5年10月は全4コース)
- 受講生** 33名(令和5年10月コース)
- 会場** 江東区文化センター



パソコン教室の様子や受講生について

コースによっても違いますが、パソコンをツールにして、皆さんとワイワイ楽しくやりたいという方が多い印象です。今年の暑い夏も、背中にパソコンを背負ってきてくれました。80歳を超えてパソコンを勉強しようという方もいて、素晴らしいと思います。

受講生の皆さんは、この教室を楽しみに来ています。受講生の皆さんの好きなことを一緒に楽しんでいる私たちは「先生」ではないかもしれません。



時代はパソコンからスマホへ 『スマホ関連教室も開講』



インターネットというものが分からない方が多いです。パソコン単体であれば、その操作を覚えれば良いですが、インターネットで外とつながると、困ってしまうようです。専門用語や略語も多く、わかりづらさもあります。

パソコンではネットショッピングにチャレンジしたいという声をよく聞きます。また、スマホでキャッシュレス決済をすることも興味はあるものの、どちらも今一つ踏み込めないでためらわれている方が多い印象です。スマホ自体が小さなパソコンとっていただき、年配の方でも出来ることが少しでも増えると嬉しいなと思います。

『一緒にこの教室を作る仲間(会員)を募集中!』

色々な方と知り合えるというのが一番のやりがいです。こちらが教えられることも多いです。それぞれのペースで講座を楽しんでいただけたらと思っています。講師のアドバイスを受講生の皆さん同士で確認し合うなど、自然に和やかな雰囲気が生まれています。この仕事に向いている方は「共感できる」人。パソコンスキルも重要ですが、受講生の皆さんと和気あいあいと過ごせるコミュニケーション力が重要だと思います。

この仕事は、教えることよりも「何をやりたいか」を探る力が重要ななと思います。仲間に来て、発見があって、なんか楽しいという受講生の楽しみを上手く一緒に探して、教えてあげる。遊び道具の一つとして、パソコンやスマホが使えたら良い。現在開講中のコースに「サロン」というものがあります。自分の知りたいこと、好きなことを一緒にやってみようという企画です。困っている人(受講生)を何とかしようという人に向いています。

パソコン教室を「サロン」と称し、一人ひとりの個性を受け入れ、コミュニケーションを大切に、楽しい学びの場所を作ることに意気込みを感じました。